

1月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



1/4 新年最初の集会でした。今年の初顔合わせはスケート！ほとんどのスカウトが初めての体験ということで、最初はずっと“手すり磨き”でしたが、だんだん慣れてくるとちゃんと自立して滑れるようになってきました！その後は伏見稲荷神社で初詣。みんな何を願ったのかな？



初詣の

前後にお弁当とセレモニーに寄った公園ではぼかぼかした午後の日差しで、穏やかに過ごせた1日でした。

1/18 1月なのでちょっと時期は過ぎましたが、今は「お正月の遊び」になっている昔の遊びをしてみました。駒回しと羽根つき。絵をかけるようになっているので書いてもいいなと思っていましたが、集まってきた時からみんな遊びたくてうずうず。順番に両方を練習してみました。一番上手なのはやっぱり「昔の男の子」でしたね。

最後にはカルタ取りもしました。2回戦目は部屋全体を使った「カード探しカルタ」にトライ！みんな場所を覚えて上手に見つけていました。



カブ(CS)隊



1/4 2014年最初の集会はスケート。今年は、西東京の東伏見アイスアリーナに行きました。アイスホッケーの公式試合もできる広いリンクで、思い切り滑りました。ポカポカと暖かな青空の下でお昼を食べた後は、東伏見稲荷神社をお参りました。お参りの後は、1枚の絵馬にみんなの願いを書いて奉納しました。本殿の裏には、たくさんの鳥居と各地の神社の分社があり一つ一つを見て回りました。いろ



いろな神様が祀られており、思い思いに、自分達の興味のある神様にお祈りをしました。



1/11-12 1泊2日でスキー舎営に出かけました。行き先は越後湯沢の隣の石打です。天候は2日間ともほぼ雪で、したが、元気に活動できました。初心者や2年ぶりというスカウトがいたので、初日は足慣らし。リフトを使わず、自力での斜面登りの練習から始まりました。慣れてきたところで、経験者はリフトへ。初心者も小一時間ほどの練習で何とか止まれるようになったので、リフトを使

って滑りました。足も痛くなってきたところで、広場で雪遊び。あたり一面ふかふかの新雪だったので、体ごと雪にダイビングしたり、雪だるまを作ったり、リーダーと雪合戦をしたりと全身雪まみれになって楽しみました。大盛りの夕食を食べた後は、宿の広間で隊集会。スタンツやゲームをしました。当日が誕生日のスカウトが



居たので、リーダーからのサプライズ！
バースデーケーキのプレゼントもあり、
楽しい夜を過ごしました。翌日は、起き
てみてびっくり。前日、雪合戦で踏み固
められたはずの広場は、まるで何もなか
ったようにふかふかの雪の絨毯に戻って
いました。泊まっていた宿の玄関から道
路に出るためには背よりも高く積もった
雪の階段を上る必要がありました。宿か
らグレンデまで数分の道も、スノーモー



ビルで圧雪してもらわないと歩けません。2日目のスキ
ーは午前中だけの活動でしたが、空いているスキー場だ
ったのでたくさん滑る事ができ、全員急な斜面も滑り降
りるまで上達しました。宿のおじさんから豪雪地方の暮
らしについてもお話しいただき、雪国の暮らしの大変さ
を実感することができました。

1/18 パインウッドカーレース地区大会に参加しまし
た。今回は参加人数も増え、参加者のレベルも上がった

為、競争率が高く、苦戦していました。くまスカウト部門の東京大会出場をかけて、一人だけ
決勝に進みましたがあと一歩というところで、出場を逃してしまいました。

でも、車体のデザインは、おもりをうまく装飾
に使用したりで 他のスカウトより個性的でよ
かったと思います。地区代表には一人も慣れま
せんでしたが、一生懸命頑張ったスカウトに拍
手を送ります。



ビーバースカウト、カブスカウト 大募集中です。 お知り合いへのお声かけ、ご紹介 をお願いします。

ボーイ(BS)隊



1/1 新年最初の旗揚げが4名のスカウトによって行われました。うち2名は前
夜からの明治神宮かがり火奉仕の帰りです。旗揚げとは、中野区内の団が交代
で当番となって祝日に中野駅南口バスロータリーにある掲揚柱に国旗を掲揚す
るものです。朝早くからでしたが、無事に掲揚
を終えることが出来ました。

1/4 新年最初の集会。初顔合わせのスケートにはなんとたった
1名の参加でした。残念ながら隊の活動はできませんでしたが、
その代わりビーバー隊の方に参加してスケートのお手伝い
を行いました。初めは滑るのに手いっぱいだった田邊さんでし
たが、徐々に慣れてきたのかビーバーの子を見ながら上手く滑
っていました。ボーイ隊らしくビーバーやカブのお手本になっ
てくれたようです。その後は、伏見稲荷神社で初詣をして、今年
度のボーイ隊の活動祈願をしました。これから一年、気を引き
締めて頑張っていきたいです。

1/12 成人の日の旗揚げに2名のスカウトが参加しました。夕
方の降納はリーダーだけで行っていますが、たまたま通りか



かったKくんが降納も一緒に行いました。

1/18 班集会を行い、スカウト7つ道具リストの作成と、各自の進歩について確認しました。7つ道具とは集会などで常に必要な持ち物のことで、ハンドブックや筆記用具などはもちろん、雨具や10円玉など万が一に必要な物もリストアップされ、ボーイスカウトのモットーである、そなえよつねにがしっかりと生かされていました。進歩については、全員が2級に進級するために、それぞれの目標を立て、1年間で取り組むことを表にまとめることが出来ました。

ベンチャー(VS)隊



1/4 初顔合わせには残念ながら参加者がいませんでした。

1/12 成人の日の旗揚げにO君が参加し、司会として運営を助けてました。

1/18 パインウッドカーレース地区大会にO君が奉仕参加しました。主に受付時に車検業務を担いました。



1月のスカウト進歩情報

BS :	K. U. くん	初級章
	R. K. くん	初級章
	H. F. さん	初級章

ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

今年の湯沢地方は1月にしては珍しく豪雪です。カブ隊スキー舎営2日目の朝にゲレンデに行ってみるとリフトが動いていません。豪雪と人出不足で、ゲレンデの整備まで手がまわらないのです。「今から雪かきします」と、高齢のリフト係のおじさん・おばさんが乗り場の雪かきを始めました。それを見ていた指導者たち！大変そうにしている人を見るとつい手助けをしてしまうのがボーイスカウトの悪い(良い?)癖で、「お手伝いしますよ」と雪かきを買って出て、リフト乗り場の雪かきを始めてしまいました。スノーボードのお兄さんも一緒に手伝ってくれ、スカウトたちも、「待ってる間に自分達でできることは？」と、みんなで自分たちが立っている乗り場へのアプローチの部分の踏み固めました。スキーで滑り始める前のひと時に、皆で心地よい汗をかくことができました。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



リーダーの活動

- 1/4 初顔あわせ下見
- 1/9 地区円卓会議
- 1/12 地区登録説明会
- 1/17 BS 地区隊長面談
- 1/18 団会議
- 1/19 地区コミ会議
- 1/22 地区委員会
- 1/24 地区トレーニング要員集会
- 1/26 地区野営行事委員会
- 1/26 地区組織拡充委員会
- 1/29 地区協議会

* 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>

「創始者ベーデン=パウエル (B=P)」

2月22日は、ボーイスカウト運動の創始者「ロバート・ベーデン=パウエル(B=P)」の誕生日を祝う日とされています。ベーデン=パウエル(B=P)とは、いったいどんな人物だったのでしょうか？ B=Pは、1857年2月22日にオックスフォード大学のパウエル教授の6男としてイギリス・ロンドンで生まれました。その父を3歳の時になくし、母ヘンリエッタは大勢のこどもを養うのに苦労をしました。一緒に育った7人の兄弟(うち男6人)と戸外で遊ぶことが好きで、学校では人気者でした。観察推理の技術が得意で、よく立入禁止の森に忍び込んで、足跡を残さない方法や木の登り方、先生に気付かれないで身をひそめる方法などを学んだというエピソードも残っています。19歳の時にイギリス陸軍に入り新米の士官としてインドに渡り、斥候、地図づくり、調査報告に専念しました。彼はすぐに頭角を現し、他の兵士を訓練する職務をまかされました。ここで彼は、部下の兵士達が士官に頼らず自分自身で兵士としての責任がはたせるようになる方法について考え、斥候術の研究をしたのです。

40歳をすぎた1900年にB=Pは、南アフリカで起きたボーア戦争に参加し、敵に囲まれたマフェキングという町を、217日間守りぬきました。ここでB=Pはマフェキングの伝令部隊の少年達が発揮した勇気と機知に感銘を受けました。任務と責任が与えられたならば、少年達は大人にも負けない働きをすることを知り、一生忘れられない強い印象を残したのです。

こうしてイギリスの救援軍が来るまでの長期間町を守りぬいたB=Pは、帰国して「偉大な英雄」として迎えられました。また、彼が兵士のために書いた小さなハンドブック「Aids to Scouting (斥候の手引き)」までが評判になり、学校などで観察や野外活動の指導に使われていました。

これを知ったB=Pは、大人のためのこの本を少年達向けに書けばもっと彼らのためになるだろうと考えました。そして1907年にブラウンシー島で実験キャンプが行われ、彼のアイデアが試されました。小さなキャンプと一冊の本からスタートしたこの運動は、またたく間に世界中に広がりました。B=Pが少年向けに書いた「Scouting for Boys」は、現在もボーイ隊の必須書物です。

(もちろんボーイ隊用は日本語版です！)